

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 東濃実業高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和6年6月6日（木） 10:00～12:00
- 3 開催場所 東濃実業高等学校
- 4 委員 岡田 泰子 中部学院大学短期大学部幼児教育学科教授
細野 裕子 願興寺修復保存会会員
平井 高子 ふしみこども食堂代表
村田 直城 パティスリーランド代表
丸山 貴弘 本校PTA役員
堀部 佳彦 本校同窓会長
伊左治有希 伏見保育園園長（欠席）
吉田 哲也 JAめぐみの伏見支店長（欠席）
山本 正憲 洞興寺住職（欠席）

(学校側) 中澤 正仁 校長
長屋 幸二 教頭
馬場 聖臣 教頭
澤田 徹 事務長
飯田 裕仁 教務主任
森 俊樹 生徒指導主事
鍵谷ひとみ 進路指導主事
高田 昌史 商業科主任
山田 陽子 生活産業科主任

5 会議の概要（協議事項）

(1) 委員長及び副委員長選出について

委員長：岡田泰子 委員
副委員長：細野裕子 委員

(2) 教育指導の重点及び学校経営計画等について

今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認を得た。

(3) 各分掌等の方針と重点について

学校経営計画を踏まえた各分掌の方針と重点について承認を得た。

意見 1：ヘルメット着用については、生徒一人一人の思いを大切にしながら必要性を理解させる指導が必要である。

- 意見 2：人から示されるのではなく、自分の意志で決めることが大事である。
- 意見 3：社会では失敗は許されない。高校生のうちに失敗を重ね、経験を積んでほしい。
その経験が成長につながる。
- 意見 4：同窓会は生徒の活動を応援、支援していく。
- 意見 5：地域イベントの橋渡しができる。活用してほしい。
- 意見 6：積極的な地域社会での活動は、学校の広報活動にもつながっている。

(4) スクール・ミッションについて

今後のスケジュールを説明し、原案を提示。第2回の運営協議会で協議する。

(5) 意見・感想

- 意見 1：時代に対応した学科改変が必要である。
- 意見 2：類型を廃止した理由は何か。
⇒学習指導要領が変わったのが背景にある。
- 意見 3：高い専門性を一人一人に応じて指導するのは大変なことである。教職員だけでなく保護者を巻き込んだ指導を。生徒にとって保護者は一生の付き合いである。
- 意見 4：評議委員会とは異なる。運営協議会として学校に関わっていく。教職員の困り感を共有していきたい。
- 意見 5：今年のパフレットはおしゃれで、すごくワクワクする。
- 意見 6：「我がない」ことを気にしない子どもが多い。教科書に載っていないことが社会では大事。「やる気」「自主性」を育てることに協力できる。
- 意見 7：コロナ禍が学校生活を変えた。体験する機会を大切にしてほしい。
家庭で社会活動を経験することが減った。積極的に地域とかかわり、地域の子どもの憧れの存在となり、地域を明るく、元気にしてほしい。

6 会議のまとめ

- ・令和6年度の学校の運営基本方針について承認が得られた。
- ・令和6年度の各分掌の方針と重点について、委員の期待の大きさを感じる。出された意見を参考に事業や行事等を進めていきたい。
- ・歴史の重みの中で存続してきた学校である。それを大事にし、校訓を具現化するよう取組んでいく。